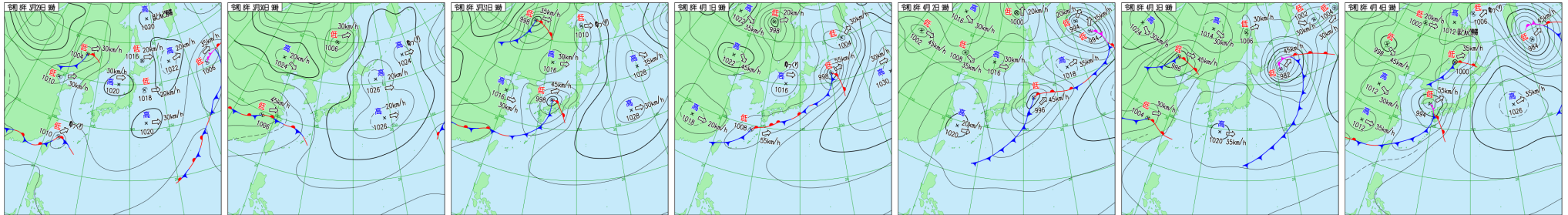


■天気図（3月29日～4月4日 ※毎日午前9時を掲載）



【今期間の天候について】

■気圧配置の特徴

29日、移動性高気圧の中心が日本海を進んだ。東シナ海では、前線上の低気圧がゆっくり東北東進。30日、高気圧は次第に日本の東へ離れ、南西諸島から華中付近には前線が停滞。前線上には新たな低気圧が発生し、発達しながら東進、31日には日本海を東北東に進んだ。低気圧の中心は31日夜遅くまでに東北付近を通過して三陸沖付近に達し、1日には日本の東へと離れた。日本の東から台湾付近にかけて前線が伸び、東シナ海では前線上のシンクが新たな低気圧となって東進、本州南岸付近を進んだ。2日、前線上の低気圧は発達しながら東海から関東の沿岸部を進み、三陸沖へと北東進。一方、東シナ海からは新たに移動性高気圧が東進、3日、本州付近は広く高気圧圏内となった。高気圧後面には、前線を伴う二つの低気圧がそれぞれ中国東北区、華中を進み、4日にかけて二つの低気圧と、これらに伴う前線が本州付近へと近づいた。

■降水

29日、前線が停滞する先島諸島付近で雨が強まり、沖縄県多良間村仲筋で66.5mm/hの非常に激しい雨を観測。30日、西日本では、東シナ海付近の前線に伴う発達した雨雲が掛かり、鹿児島県肝付前田で49.5mm/hの激しい雨を観測。31日、日本海を進む低気圧、前線の影響で広く雨。風も強まって荒れた天気となり、静岡県では、御前崎市などで土砂災害警戒情報が発表される大雨となった。1日、前線上の低気圧の影響で西日本、東日本太平洋側で広く雨で、鹿児島県では激しい雨が降った所があった。2日、三陸沖を進む低気圧の影響で、北海道太平洋側で雪や雨。釧路地方標茶町で23cm/3hの降雪を観測、4月としては記録的な大雪となった。3日、東北地方では大気の状態が不安定となり、局地的に雨。先島諸島では前線の影響で、やや強い雨を観測。4日、低気圧に伴う非常に発達した雨雲により四国で大雨となり、高知市で85mm/h、高知県香美市繁藤で98mm/hの猛烈な雨を観測。

■気温

29日、高気圧に覆われ、各地で平年を上回る暖かさに。徳島で桜の満開発表。30日、高気圧の縁を回る暖かい空気が流入し、日本海側ではフェーン現象によって気温が上昇、福井で25.0℃の夏日を観測。31日、南寄りの風が山越え気流となった徳島県美馬志穴吹では、真夏日寸前となる29.3℃を観測。西日本中心に、23地点で3月の1位の値を更新する最高気温を記録。1日、沖縄上空に暖かい空気が流れ込み、波照間で30.5℃、全国初となる真夏日を観測。前橋や横浜で桜の満開発表。2日、西日本、東日本では天気回復により気温上昇。宮崎では22.8℃まで上昇したが、北日本では雪や雨、冷たい空気の影響で気温低下。3日、高気圧に覆われ広い範囲で4月下旬から5月並みの気温。金沢や大阪など、12地点で桜の満開発表。4日、低気圧に向かう暖かい空気の影響により各地で気温上昇。南風がフェーン現象となった西日本を中心に20℃以上の地点が多かった。

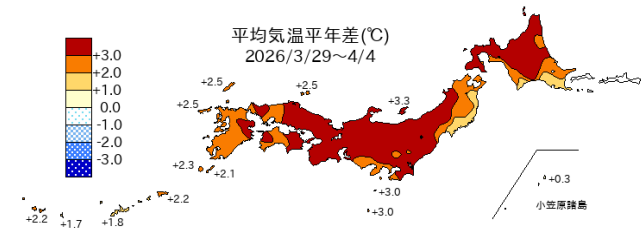
■今期間（3月29日～4月4日）の天候のまとめ

今期間は、全国的に数日の周期で天気が変わり、本州付近は南寄りの暖かい空気が入りやすく、いくつかの地点では期間中に25℃以上の夏日を記録した。そのため平均気温は、全国的に平年を大きく上回り、多数の地点で3～4℃以上上回る、顕著な高温傾向となった。

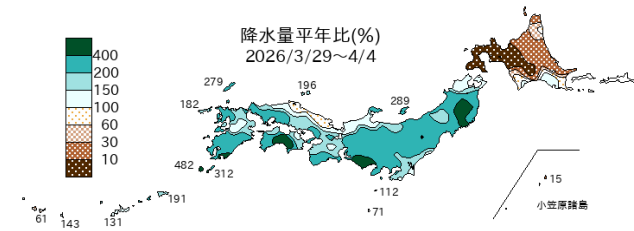
降水量は、低気圧や前線の影響を受けやすかったため、本州付近の広い範囲で平年を上回る傾向となった。西日本から東北の広い範囲で総降水量が平年の2～3倍以上となり、特に高知では4日の大雨が重なったため、平年を8倍以上も上回る総降水量を記録した。

日照時間は、低気圧や前線の影響に伴い、全国的に曇りや雨の日が多く、平年を下回る傾向となった。ただ北海道では、札幌や旭川など、低気圧や前線の影響が比較的小さく、一部では日照時間が平年をやや上回る地点も見られた。

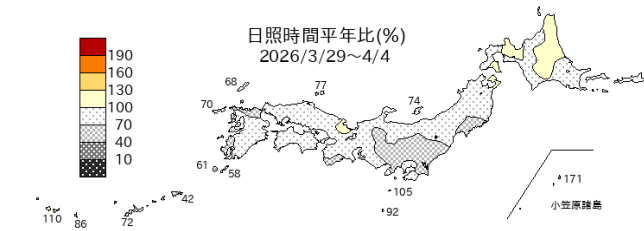
■平均気温（℃）と平年差（℃）



■期間総降水量（mm）と平年比（％）



■期間総日照時間（分）と平年比（％）



札幌	8.1(+3.9)	旭川	6.1(+3.9)	札幌	0.0(0)	旭川	1.5(16)	札幌	2512(110)	旭川	2371(104)
網走	4.4(+2.8)	釧路	3.6(+1.6)	網走	1.5(16)	釧路	16.0(95)	網走	2206(90)	釧路	2029(78)
室蘭	6.1(+2.3)	秋田	9.7(+3.1)	室蘭	0.0(0)	秋田	49.5(212)	室蘭	2359(84)	秋田	1457(70)
仙台	10.1(+2.2)	前橋	13.7(+3.2)	仙台	40.5(221)	前橋	50.0(305)	仙台	1775(67)	前橋	1650(57)
東京	14.8(+3.1)	長野	11.9(+4.7)	東京	70.5(216)	長野	35.5(240)	東京	1839(75)	長野	2008(78)
新潟	12.3(+3.8)	金沢	13.5(+3.8)	新潟	55.0(222)	金沢	44.5(134)	新潟	1733(78)	金沢	1897(81)
名古屋	15.3(+3.6)	大阪	16.0(+3.6)	名古屋	61.5(224)	大阪	48.0(205)	名古屋	2223(81)	大阪	2111(83)
松江	13.8(+3.4)	広島	14.9(+2.9)	松江	28.5(97)	広島	91.5(308)	松江	1825(81)	広島	2210(86)
高知	16.4(+3.0)	福岡	15.7(+2.6)	高知	362.0(850)	福岡	40.5(158)	高知	1826(68)	福岡	1507(61)
長崎	15.8(+2.4)	宮崎	16.7(+2.4)	長崎	64.5(230)	宮崎	103.5(284)	長崎	1631(69)	宮崎	1914(74)
鹿児島	17.1(+2.1)	那覇	22.0(+1.8)	鹿児島	140.5(399)	那覇	45.0(131)	鹿児島	1606(68)	那覇	1198(72)